

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2009
平成21年

5.15

目次	
「中央公園」 フィットネスコースで健康づくり	2
衣笠校区	4
学校は今…安全教育の取り組み	5
たはらしティニュース	6
田原市民活動支援センターのページ	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

青空大好き
公園で遊ぼう！



初夏は、中央公園で楽しもう！

フイットネスコースで健康づくり

市民の皆さんから広報たはらに寄せられるお便りの中には、健康や公園に関する情報、料理のレシピを教えて欲しいなど、さまざまな要望があります。今回は、これからの季節にはピッタリの、中央公園フイットネスコースをご紹介します。

ウォーキングをしながら、ゆったりとしたストレッチを行うコースは、子どもからお年寄りまで楽しく運動することができます。皆さんもぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



器具の1番から18番まで順番に運動していくと、ウォーミングアップからクーリングダウンまで行うことができますよ！

コースの入口に案内板があります



ウォーキングも楽しめます



腕が伸びて気持ちいい！



肩こり防止になります



▲フイットネスコースでは、フイットネスとウォーキングを同時に行うことで、運動の3要素である『柔軟・筋力・有酸素運動』をバランスよく行うことができます。短時間ではトレーニング効果が期待できませんので、1回につき連続して20分程度続けてください。また、1日おきに週3回くらいのトレーニングが効果的です



▲フイットネスコースのパンフレットや利用ガイドは、中央公園管理棟で配布するほか教育委員会ホームページでもご覧になれます

☞ <http://www.city.tahara.aichi.jp/section/kyoiku/>



6/2(火)
オープン
OPEN

遊水地スポーツ広場

中央公園内に、遊水池を先行して有効利用するためのスポーツ広場が完成しました。この広場は、ローラースケートやフットサルをはじめ、多目的に利用することができます。

【利用について】

- 利用開始日 6月2日(火) ※月曜日休場
- 利用方法 中央公園内事務所(テニスコート横)で申請書へ記入後、鍵を借りてください
※18歳未満の方のみで利用する場合は同意書が必要です
午前9時～午後5時(4月～9月は午後7時まで)
- 利用時間
- 使用料 無料
- 施設内容 ローラースケート場(200mトラック)、多目的広場
※備品はありませんので、各自でご用意ください
- その他 電話でのお問い合わせは可能ですが、利用申し込みはできません(部分利用のためトイレ・水道はありません)
▶中央公園内事務所 ☎22局0003

*遊水池とは

大雨などにより河川が増水した際に、洪水を防ぐため河川の流水を一時的に氾濫(はんらん)させる土地のことで、下流の水害を軽減する目的で設置されます。

●問い合わせ先

生涯学習課施設管理グループ ☎22局6061



潮干狩りシーズンにおすすめなレシピが、夕陽が浜にお住まいの中村さんから届きましたのでご紹介いたします。アサリのゆで汁で炊く五目ごはんは、風味豊かで海の香りを存分に楽しむことができます。行楽にも最適だという炊き込みごはん。皆さんもご家庭で味わってみてはいかがでしょうか。



地元産の食材レシピ

磯の香りアサリごはん

▼レシピ提供 中村さん(夕陽が浜)

●材料

- ・米…3カップ
- ・アサリのゆで汁
- ・しょうゆ…大さじ2
- ・酒…大さじ2
- ・みりん…少々
- ・ほぐしたアサリ…200g程度
- ・ニンジン…1/2本
- ・油揚げ…1枚
- ・干しシイタケ…2枚(もどしておく)
- ※他にタケノコやシメジなどお好みで

- ①アサリはゆでて、身をほぐしておく。
 - ②お米を洗い、①の調味料を入れてからアサリのゆで汁で水量を合わせる。混ぜ合わせた後、細切りにした③を入れて炊く。
- *アサリのゆで汁の濃さにより、調味料を調整してください。

我が家の自慢の二品などがありましたら、ぜひご投稿ください。

▼あて先 441-3492
住所不変 田原市役所広報たはら

衣笠

基礎データ

【人口】 6,003人(H21.3.31現在)

【世帯】 2,489世帯(H21.3.31現在)

【面積】 約673ha

【公共施設】 加治保育園・赤石幼稚園・衣笠小学校・
渥美農業高校・田原警察署・田原市消防署・田原福
社センター・田原デイサービスセンター・田原授
産所・田原斎場・滝頭公園

【文化財】 藤七原湿地植物群落

【主な産業】 商業・農業



●滝頭公園

衣笠校区は…

昭和60年に衣笠小学校の開校とともに発足し、今年で25年を迎えた。田原市の中核部に隣接し、市街地の役割を担う中で、さらに宅地開発も進み、平成4年4月からは赤石地区も加わって7地区で構成されている。生活環境は利便性に富み、自然環境にも恵まれている。環境保全への意識も高く、里山づくりも盛んである。

今、住みよい校区づくりを実現するために、校区全体でまちづくりを進めている。

自然の恵み

栄枯盛衰はあるが、東海一の規模と言われた藤七原湿地植物群落のシデコブシ自生地は、3月下旬に開花のピークを迎える。



●シデコブシ

4月には、滝頭公園を中心に通称1万本の桜が咲き誇り、毎年「桜まつり」が盛大に行われる。ドウダンツツジやミツバツツジの花も観賞することができる。

清谷川上流や庄司川では、ゲンジボタルの飛翔が見られ、5月下旬の最盛期には一夜で2000匹を超えるホタルが乱舞し、人々の目を楽しませる。20年を超える住民の地道な努力の結果である。

初夏、1000本近くのササユリが滝頭公園・学習の森に咲き、市民館を中心とした保全活動も活発に行われている。



●ササユリ

四季を問わず、衣笠の自然を堪能するために多くのハイキング客



●昨年のハイキング大会

が訪れるが、とりわけ、紅葉の季節の滝頭一帯は見ものである。市民館主催の「衣笠自然歩道ハイキング大会」は、多くの参加者で賑わっている。自然の恵みに感謝したい。

郷土の偉人

江崎邦助巡查夫妻

衣笠小学校の学芸会では、毎年6年生による劇「江崎巡查物語」が上演され、感動の涙を誘っている。

コレラが大流行した明治19年、巡查は渥美半島西部を巡り、医師らと協力してコレラにおののく住民を説得し、防疫対策を行った。田原への帰路、コレラに発病したことに気づいた江崎巡查は、街へ入れば皆に感染すると考え、加治町稲葉の掘っ立て小屋にこもった。妻のじうは巡查の元につけ、看病の末自らも発病し、若き二人の命は露と消えた。

殉職地には凜として慰霊碑が建っている。命をかけて人々をコレラから守った偉人として、末長く語り継ぎたいものである。



●江崎巡查夫妻の慰霊碑(加治町)



学校は、今…

SCHOOL REPORT 10
安全教育の取り組み

子どもたちの健全育成には、地域や学校の安全は欠くことができません。今回は、不審者や交通事故などから子どもたちの安全を守るための教育活動をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679



防犯教室（大草小学校）

大草小学校では、毎年「こども見守りボランティア」の皆さんに参加していただき防犯教室を開催しています。「こども見守りボランティア」は、大草校区青少年健全育成会に属している熟年友の会の方たちを中心に、おそろいの帽子とベストを着て活動しています。初回は、不審者に出会ったときの対処方法を、2回目は護身術を学び、防犯について考える良い機会となったようです。

大草小学校の児童たちは、地域のみなさんの温かなまなざしに見守られ、元気に登下校しています。

●児童の感想

「元警察官の人に、誘拐のことなどを教えてもらいました。犯人役の服そうや車のナンバープレート覚えめました。とてもためになったと思います」「一人で帰ることがたまにあり、「怖い、誰かいるのかな?」と感じたこともあります。でも、見守り隊や青色パトロールの人たちからいろいろ教わったので安心しました」
(大草小学校5年生)



▶ 真剣に話を聴く子どもたち



▶ 不審者から身を守る護身術の練習



▶ 交通安全を呼びかけ菜の花をプレゼント



▶ 交通安全を願い菜の花を準備

菜の花キャンペーン（和地小学校）



2月21日(土)に、和地小学校の5・6年生の児童たちが、学校前の国道でドライバーの皆さんに菜の花をプレゼントしました。菜の花はPTAの皆さんに準備していただき、全校児童が書いた交通安全を祈る手紙も添えました。花束を渡すときには「交通安全に気をつけて安全運転をお願いします」と呼びかけました。思いがけないプレゼントと子どもたちの言葉に、ドライバーの皆さんも思わず顔をほころばせていました。菜の花を受け取った人の中には、お礼の手紙やメールを送ってくれた方もあり、児童たちは喜んでいました。

菜の花キャンペーンをきっかけに、交通安全の輪が広がることを願っています。

●児童の感想

「菜の花キャンペーンをして、自分も交通事故に気をつけようと思いました。ドライバーの皆さんも気をつけてくれるといいな」
(和地小学校6年生)

4月19日(日)

豊かな自然のある
私のまち



▲ステージではクイズ大会やエコレンジャーショーなどが開催されました

はなのき広場・田原文化会館周辺で**第6回市民緑花まつり**が開催されました。各種フラワー教室などが行われ、約9000名の来場者でにぎわいました。フラワー作品コンテストでは、来場者の投票で、林よし子さん(福江町)が最優秀賞に選ばれました。

4月11日(土)

今日も安全運転を
お願いします



▲思いがけないプレゼントに、ドライバーの皆さんもニコリ

田原市パシフィックロータリークラブの**交通安全活動**が行われ、蔵王の杜・田原授産所の利用者や赤羽根学園の児童ら約110名が参加しました。参加者たちは、ドライバーに「安全運転をお願いします」と笑顔で声をかけ、ゴーヤの苗などを配布しました。

4月13日(月)

熟練のワザ
内閣総理大臣賞！



▲「手作り布団の良さを伝えていきたい」と話す小久保さん(写真左)

第25回技能グランプリで**内閣総理大臣賞**を受賞した寝具店経営の小久保新吾さん(堀切町)が、田原市長を訪問し、受賞の喜びを語りました。小久保さんは、寝具職種で優勝。さらに全31職種の参加者の中で、特に優秀な職人に贈られる同賞を受賞しました。



田原市民活動支援センターのページ

地域活動支援センター「やまぶきハウス」が開所しました



温室で水耕栽培中

近くの畑で農作業



その名の通りやまぶき色！



昨秋設立した「**NPO法人 気分爽快**（小林明夫代表）」は、田原市内で3ヶ所目の地域活動支援センター（※）として「やまぶきハウス」を運営しています。障害の程度に関わらず、働くことに意欲を持って取り組むことができるよう、就労を常にイメージできる場として活動しています。

現在市内の障害のある10人が、サラダ野菜の水耕栽培をはじめ、畑でも野菜を生産し販売しています。「利用者が人間らしい生活をおくり、自立するために必要な月収5万円」を目標としています。

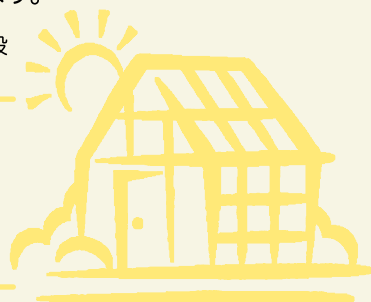
※ 地域活動支援センター：障害者自立支援法による障害者の日中の居場所づくりや就労を支援するための施設

特定非営利活動法人 気分爽快（代表 小林明夫）

〒441-3421 田原市田原町北乗鞍11-4

Tel (0531)27-6377 Fax (0531)27-6378

e-mail tahara@kibunso-kai.com



今後の市民活動ニュース

日時	内容	会場ほか	連絡先
6/13(土) 13:30~16:30	見つけてパチリ! 写真集めにGO = Photo Scavenger Hunt をしよう =	田原文化会館集合 定員: 小学生以上50名 参加費: 500円	たはら国際交流協会 Tel/Fax (0531)22-2622 e-mail info@tahara-tia.jp
6/14(日)、 20(土) 10:00~15:00	田んぼの学校 ～ 田んぼで生き物探し& サツマイモを植えよう ～	どろんこ広場 定員30名の2クラス制(毎月開催 年間講座) 「親子で田んぼの学校」も開催	NPO法人はつくるベリーじゃむ Tel (0531)34-1234 e-mail info@huklejam.com
6/21(日) 11:00~12:00	西の浜クリーンアップ活動 ー きれいな海を守るゴミ拾いー	「西山町」の信号をでた所から 200mほど風車寄り	環境ボランティアサークル亀の子隊 Tel 090-9123-7983 (鈴木)
6/28(日) 10:00~11:00	ログドラムを使ったリズム遊び	衣笠市民館多目的ホール 定員: 小学生～大人 30名 参加費: 2000円(全7回)	「チームログっこ」事務局 Tel/Fax (0531)23-0664

通年

通年

通年

市民活動支援センターでは、NPO・市民活動相談などを受け付けています（毎週金・土・日午後2～7時、田原文化会館フリースペース）。同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎です！*紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先：市役所市民協働課 TEL：0531-23-3504 FAX：0531-23-0180 Email：kyoudou@city.tahara.aichi.jp

紙面作成・編集：田原市民活動支援センター



生活

農業新技術導入等支援
補助金制度

農業生産に携わる農業者による農業新技術の導入や、農業生産などに寄与する改善施策の取り組みについて支援する補助金制度が始まります。地域農業アイディア活用支援事業として地域農業に寄与するとされた事業に対し、実施に必要となる事業費の一部を補助します。

▼対象事業Ⅱ農業の生産現場に地域農業者の創意工夫を活かし、新技術への取り組みを促進する事業 ▼対象団体Ⅱ田原市に住所を有する農業者など（営農組織、営農団体、農業生産法人含む）の3名以上で構成された団体 ▼補助額Ⅱ1事業につき補助対象経費の1/2以内（上限100万円） ▼審査Ⅱ7月（書類審査、ヒアリングなど） ▼申し込みⅡ6月30日（火）までに提案事業を提出 ▼その他Ⅱ事業採択の決定は7月中旬を予定しています。

▼農政課

☎ 23局 3517 FAX 22局 3817



募集

WANTED

田原市臨時職員
（児童クラブ指導員）

▼募集人員Ⅱ1名 ▼対象Ⅱ次の要件のいずれかを満たす方①保育士資格もしくは幼稚園・小学校教諭免許をお持ちの方②子育て経験があり心身ともに健康な方 ▼勤務場所Ⅱ童浦児童クラブ（予定） ▼勤務形態Ⅱ週3～4日の勤務、午後1時～6時（夏休みなど長期休暇時は午前8時30分～午後1時30分と午前9時～午後6時との交代勤務）土・日曜日、祝日、年末年始を除く ▼賃金Ⅱ時給940円 ▼選考方法Ⅱ面接

田原市防災カレッジ

	日時	内容（予定）
1	6月13日（土） 13:30～16:00	「災害現場から学ぶ」 講師▶NPO法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田暢之さん 「身近な気象情報を活かす」 講師▶名古屋地方気象台 気象情報官
2	7月11日（土） 13:30～16:00	「自主防災会の意識改革」 講師▶大学教授 「1秒を争う災害対応」 講師▶中部電力（株）豊橋営業所配電運営課 災害担当者
3	10月17日（土） 13:30～16:00	「家の耐震から災害活動へ」 講師▶大学教授 「自衛隊の役割」 講師▶陸上自衛隊第10特科連隊第5大隊 災害担当者
4	平成22年 2月28日（日） 13:30～16:00	田原市防災講演会 「推進地区活動事例発表」 発表者▶市内自主防災活動推進地区 「阪神大震災の災害現場から」 講師▶NHK大阪放送局 アナウンサー

（期日など詳細は後日通知） ▼申し込みⅡ5月29日（金）までに生涯学習課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出
▼生涯学習課
☎ 23局 3531 FAX 22局 3811

田原市防災カレッジ 受講者

防災・減災活動で活躍している方や、自然災害の備えに興味がある方を対象に、「防災カレッジ」を開講します。

▼対象Ⅱ市内にお住まいで、全4回受講可能な方 ▼定員Ⅱ100名程



度 ▼日時・内容・講師Ⅱ表のとおり ※講師の都合により変更する場合があります ▼場所Ⅱ田原文化会館ほか ▼申し込みⅡ6月5日（金）までに直接または電話にて ▼その他Ⅱ詳しくは市ホームページをご覧ください。

▼防災対策課

☎ 23局 3548 FAX 23局 0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp>



▲中山町で発見された不発弾

不発弾を発見したら 田原警察署に連絡を！

戦後60年以上が経過しましたが、残念なことに、いまだに日本では不発弾が発見されることがあります。田原市も例外ではありません。4月に中山町の畑で発見された不発弾は、長さ117cm、直径30cm、重さ約400kgで、大変大きなものでしたが、自衛隊により安全に処理されました。

不発弾を発見した場合は、触らず、近寄らず、田原警察署にご連絡ください。

▼防災対策課

☎ 23局 3548 FAX 23局 0180

▼田原警察署生活安全課

☎ 23局 0110

協定保養所利用助成事業が 6月1日から始まります

愛知県長寿医療（後期高齢者医療）制度被保険者の皆さんの健康保持・増進を目的に、次の協定保養所に宿泊利用する場合、1人1泊につき1000円（6月1日～平成22年3月31日宿泊分の、全保養所合わせて4泊まで）を助成します。

利用する場合は、協定保養所へ直接お申し込みください。お申し込みの際に「愛知県長寿医療制度被保険者」であることを伝えてください。

■協定保養所一覧

所在地	協定保養所名	問い合わせ先
犬山市	レイクサイド入鹿	☎(0568)67局3811
桑名市	名古屋市休養温泉ホーム松ケ島	☎(0594)42局3330
東浦町	あいち健康プラザ	☎(0562)82局0235
田原市	シーサイド伊良湖	☎(0531)35局1151
蒲郡市	サンヒルズ三河湾	☎(0533)68局4696
豊田市	豊田市百年草	☎(0565)62局0100

宿泊当日に、利用される保養所の窓口で長寿医療の保険証を提示し、利用カードの交付（押印）を受けると、精算時に通常料金に対し1000円が助成されます。詳しくはお問い合わせください。

▼愛知県後期高齢者医療広域連合給付課

☎(052)955局1205

INSPECTION FOR PUBLIC

縦覧

豊橋渥美都市計画の変更等 について

田原赤羽根土地地区画整理事業に伴う区域区分、用途地域の変更および土地地区画整理事業について決定の続きを進めてきましたが、4月14日付けで法手続きが終了しました。なお、関係図書の縦覧は、街づくり推進課で行っています。

▼街づくり推進課

☎ 23局 3524 FAX 23局 0180



寄付

DONATION

次の方々からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼4月13日、福江中学校同窓会様から、福江中学校体育館用の時計として電波時計1台。

▼4月16日、株式会社河合組会長河合登様から、野田小学校の図書館充実のため金30万円。

ふるさと寄附金

▼4月8日、匿名希望の方から金20万円。

◆お詫びと訂正

4月15日(水)に各戸配布しました平成21年度生涯学習情報誌上半期版の9ページ「田原混声合唱団」代表者と、11ページ「テニス協会」代表者の電話番号に誤りがありました。たいへんご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

田原混声合唱団 正 22局4765 誤 23局4765

テニス協会 正 22局2711 誤 22局1101

▶生涯学習課

☎ 23局3531 FAX 22局3811

広がる未来へ

＊たはらエコ・ガーデンシティ構想

37

●始まるエコカー減税

平成21年4月1日から、燃料や排ガス規制で一定基準を満たす「エコカー」を対象に減税が始まりました。

この「**エコカー減税**」では、車を所得した時にかかる自動車所得税と、新車登録時と車検の際に課税される自動車重量税が減免されます。

さらに国は、追加経済対策として、登録から13年を越えた車を廃棄し、低公害車や燃費を向上させた車へ買い替える際の補助制度を設ける予定となっています。地球温暖化防止策の一環として、環境性能に優れた自動車普及することは、自動車の保有率や依存率の高い田原市においては、とても有効なことです。

自動車を大切に使用することも有効な手段ですが、もし買い替えを考えているのなら「エコカー」を検討してみてはいかがでしょうか。



4月15日号でご紹介した田原市エコエネルギー導入等補助金も併せて受けることができます。

◆低公害車購入補助金

ハイブリッド自動車や電気自動車、天然ガス自動車、メタノール車が対象となります。

●補助額……車両本体価格×5%
上限5万円

●申請時期……新車登録・支払完了後
30日以内

※詳しくはお問い合わせください。



◎たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人186人・事業所3か所(4月末現在)

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX 23局0180



省資源とリサイクル

13

皆さんが出されている「ごみ」の中には、リサイクルされるだけでなく、お金になる「ごみ」もあることをご存知ですか？今回は資源ごみについてご紹介します。

どんなごみが
お金になるの？

●鉄くず類

壊れた自転車や金属製品、小型の廃家電など

◎売却代金約2300万円
(平成20年度合計)



●古紙、繊維類

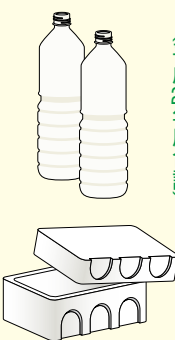
段ボール、新聞、雑誌、紙バック、古着など

◎売却代金約4570万円
(平成20年度合計)



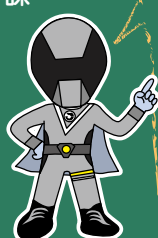
●ペットボトル・発泡スチロール

◎売却代金約780万円
(平成20年度合計)



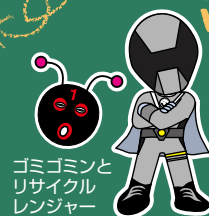
※これらの資源ごみの売却代金は市の収入となり、皆さんの生活に役立つように使われています。

ごみの中には、分ければまだ資源になるものや、リサイクルできないものもあります。ごみは正しく分別しましょう。



▼清掃管理課

☎23局6568
FAX 23局0180



ゴミゴミンとリサイクルレンジャー

交 流 通 信



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶ 広報秘書課 ☎ 22局0138

たはら国際交流協会の新しい事務所がオープン

国際交流活動の推進を目的に活動しているボランティア団体、「たはら国際交流協会」をご紹介します。

● 気持ちも新たに！

4月4日(土)、たはら国際交流協会(TIA:Tahara International Association)の事務所が、田原文化会館2階から1階へ移設したのに合わせ、開館時間を拡大するなど、リニューアルオープンしました。

● TIAの活動

中国語教室や英会話教室、外国人を対象とした日本語教室、世界の料理教室を開催するほか、市民海外派遣や外国人との交流会を実施するなど、日本人と外国人の橋渡しをする活動を行っています。



▲英会話教室の様子

● 新会員などを募集中

現在、新会員を募集しているほか、ホストファミリーやボランティア通訳ができる方の募集も行っています。詳しくはお問い合わせください。



▲気軽にお立ち寄りください

▶ たはら国際交流協会事務所
開館時間=午前10時～午後5時
休館日=月曜日／祝日の場合は翌日
場所=田原市田原町汐見5(田原文化会館1階)
☎22局2622 FAX22局2625
✉info@tahara-tia.jp http://www.tahara-tia.jp/
※入会には年会費(2000円)が必要です。

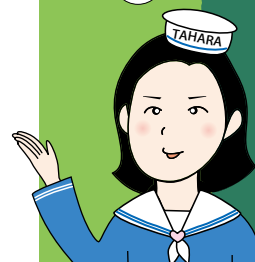
忍びよる巨大地震

のりりん

防災まめ知識

災害に役立つワザ① 蒸しタオル

48



こんにちは、のりりんです。
災害時は、平常時に使えるものが、使えなくなることがあります。そんなときに役立つワザをシリーズで紹介します。1回目は、少ないお湯で**蒸しタオル**を作るワザです。

■ 用意するもの

- タオル2枚
- ビニール袋1枚
- カップ(紙コップ可) 1個
- 熱湯約100ml

■ 作り方

- ① ビニール袋にタオルを1枚入れ、熱湯をかけます。



- ② 乾いたタオルに包んで軽く押さええます。



■ 使い方

体をふいたり、髪をふいたりします。ドライシャンプーがあれば、お湯を使わずに洗髪できます。体をふいた後は、乾いたタオルで湿り気を拭き取りましょう。



■ 効果

蒸しタオルで体をふくと、衛生的なだけでなく、心身の緊張がほぐれる効果もあります。

■ やけどに注意

蒸しタオルを作るときや使うときは、やけどに十分注意しましょう。

このコーナーをのりりんが担当するのは、今回が最終回です。次回からは、かんちゃん担当します。

▼ 防災対策課 ☎ 23局3548

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635

FAX 22局 3811

明らかにセメント窯の秘密

その②

セメントの作り方は、まず始めに窯に拳より小さく砕いた石灰岩と煙が出ない無煙炭を入れて焼き、生石灰を作ります。次に、この生石灰に水を加え、消石灰を作り、水と粘土を加えてかき混ぜます。そして不純物を取り除き沈殿させ、乾燥させた白地というものを作ります。ここからが徳利窯の出番です。窯底に鉄の棒を組み合わせて火床を作り、口火用の松葉を敷いた上に石炭をつめます。始めは石炭を厚く敷き、



▲現在の徳利窯の様子

白地を薄く敷きます。徐々に石炭を薄くし、白地を厚く積み上げます。最後には白地の厚さを30cmほどにし、石炭を薄くまきます。材料の積み上げが終わったら点火し、約7日間焼き続けます。約4分の1の量に焼き縮んだものを窯の底にある焚口からかき出し、不良品を除去し粉碎したうえで細かな網のふるいにかけます。そして、これをさらに風化させて、樽詰めをしたものがセメントとして出荷されます。出荷までおそろしく手間がかかることが理解できるでしょう。明治44年には、石灰岩の粉末や山粘土を混合し、粉碎した後に石膏を加えるなど改良を重ね、品質



▲高温でガラス化した壁

を向上させています。現在では、原料を入れて約2時間で焼き上がるので、技術の進歩を感じます。ちなみに、窯が5基あった明治29年の生産量は、月2500樽（1樽170kg）でした。御殿山の徳利窯は残念ながら壊れていますが、壊れていることにより、窯の内部が観察できるという利点があります。9号窯の焼成室内部で、炎が当たり高温となる範囲には、白っぽい耐火煉瓦が積みまれています。これは高温による窯の破損を防ぐためで、その表面を見るとガラス化し、いかにセメントが窯内で高温で焼かれたのかを理解できます。実際には資料がないので分かりませんが、1000度までは上がったことでしょう。8号窯の焼成室は、表面の耐火煉瓦がはがれ落ちたため、割れた煉瓦を粘土などで貼り付け補修されており、セメント生産の生々しさが見えます。この補修の様子を見て、



▲8号窯の補修された壁



▲耐火煉瓦(白っぽい破片)
※赤茶の破片は通常の煉瓦

平安から鎌倉時代の陶器を焼いた窯の壁が、茶碗の破片などで補修されていたのを思い出しました。破損した窯の断面を観察すると煉瓦の積み方や焼成室の内部の焼け爛れ、補修した様子などがわかります。破損した煉瓦の破片に刻まれたマークからは、どこの煉瓦を使ったかも判明できます。

今後の調査研究では、窯の構築や焼成など、当時のさまざまな技術解明が期待されます。(増山)

今月の「表紙」

汗ばむくらいの陽気へ。公園内は、遊具で遊ぶ家族連れや陸上などの練習をする子どもたちでいっぱい。体を動かすのに最適なこの季節。元気に走り回る子どもたちを見ていたら、私も何か運動を始めてみたくなりました。私もいざ中央公園へ。(〇)

【表紙の写真】白谷海浜公園